

一部新規

担当 公園スタジアム課 公園事業担当
内線 5408

目的

性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、すべての公園利用者が安心・安全に利用できる県営公園を目指す。

事業概要

1 誰もが利用しやすい公園づくり 175,000千円

寄付募集事業

(1) 誰もが遊べる広場の整備（大宮第二公園） 100,000千円

- ・ 遊具、休憩施設、トイレ、授乳室等を広場に一体的に整備し、こども連れの親子が移動することなく長時間、安全で快適に利用できる広場を整備する。
- ・ 遊具については、障がいの有無に関わらず遊べる遊具を選定し、誰もが遊べるインクルーシブな広場を目指す。



誰もが遊べる広場整備イメージ

【東京都「だれもが遊べる児童遊具広場」整備ガイドラインより】

(2) 誰もが利用しやすいトイレの設置（こども動物自然公園） 75,000千円

- ・ おむつ替え台やこども用トイレ、ベビーチェアを男女のトイレに設置するとともに、防犯対策を強化するなど女性や子育て世代のニーズに対応した、誰もが利用しやすいトイレを整備する。
- ・ 併せて、高齢者や知的・発達障害者等への異性による介助・同伴利用等、多様化するニーズにも対応する。

2 防犯対策の強化 198,500千円

(1) 防犯カメラの充実（新規） 198,500千円

- ・ こどもの利用が多い県営公園を中心に、防犯カメラを設置し、公園利用者の安全性向上及び管理運営業務の効率化を図る。
- ・ 権現堂公園など6公園に40台設置予定。



大宮公園での防犯カメラ設置事例